

就学前の子ども（双子）と お母さんへのアプローチ



大阪府障害者福祉事業団

こども発達支援センターSun

上溝 由希奈

こども発達支援センターSun

- 所在地 河内長野市
- 利用児 64人
- 実施地域は 9つの市町村
(富田林市、河内長野市、大阪狭山市、羽曳野市、
藤井寺市、松原市、太子町、河南町、千早赤阪村)
- 自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい等の診断、もしくは疑いのある子どもとその保護者を対象に、特性に合わせた療育と保護者への研修を行っています。

こども発達支援センターSun

□子どもへの支援・・・

[療育]

子ども一人ひとりに合わせた、個別プログラム

□家族への支援・・・

[療育]

家庭での関わり方や、困りごとのアドバイス

[保護者指導]

障がい特性の理解や、支援方法を学習する場

(月に1回)

その他

□ 学習会

保護者、関係者、地域の方に対して、特性の理解と支援方法について学習する場を設定しています。

□ 相談

発達について、障がいについて、日々の中での心配事や困り事について、ご相談をお受けしています。

(相談日は、事前にお問い合わせ下さい。予約が必要です。)

□ 保育所等訪問支援事業

保育所、幼稚園、小学校などに訪問し、集団生活に適應できるように担任の先生方へのアドバイスなどを行っています。



その他

□ 大阪府障がい児通所支援事業者育成事業

子どもが利用している通所事業所における人材育成、機関支援、相談なども行っています。

□ 大阪府ペアレントサポート事業

(ペアレント・トレーニングの実施)

子どもにわかりやすい対応方法を、保護者に身に付けてもらうためのプログラムです。

双子の兄Aくん

双子の弟Bくん

～Sunでの二年間～



双子の兄 Aくんと

双子の弟 Bくん

Aくん プロフィール

- 3歳からSunを利用
- 男の子
- 診断名：自閉症
- 平成24年4月～平成26年3月の二年間

Bくん プロフィール

- 3歳からSunを利用
- 男の子
- 診断名：自閉症
- Aくん同様 平成24年4月～平成26年3月の二年間

Aくんの 検査中の様子

- スタッフがおもちゃを操作して“遊び方”の見本を示す
→注目するものの、触ろうとせず
- おもちゃや 検査用具を提示する
→初めての場所で初めての人と、何をやるのかがわからず不安で泣き出してしまおう

Bくんの 検査中の様子

- 遊び場面での過ごし方
 - スタッフの膝の上に座り、おもちゃを見る
 - スタッフの手をとって、操作するように伝える

- 検査場面では、スタッフの誘導に応じて椅子に座る
 - 興味のあるものは、手に取る
 - しかし、問われている事がわからず

発達検査の様子 (兄Aくん)

□動画



発達検査の様子（弟Bくん）

□動画



目標

領域	Aくんの目標	Bくんの目標
行動管理	<ul style="list-style-type: none">• スケジュールの理解• 終わりの理解	<ul style="list-style-type: none">• “今する活動” の理解• 終わりの理解
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">• 要求の伝え方を知る• 注意喚起の方法を知る	<ul style="list-style-type: none">• 要求の伝え方を知る• 適切に拒否を伝える
学習スキル	<ul style="list-style-type: none">• 一定時間椅子に座る• 微細運動の向上• 見分ける力をつける	<ul style="list-style-type: none">• 一定時間椅子に座る• 微細運動の向上
余暇スキル	<ul style="list-style-type: none">• いろいろな遊びを楽しむ• 余暇の開発	<ul style="list-style-type: none">• 身体を使った活動に参加• 余暇の開発

コミュニケーションの練習（兄Aくん）

- PECSの方法を活用し、要求の練習を行う



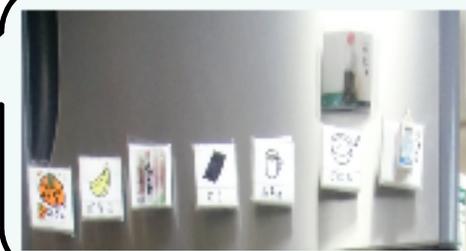
はじめは、二人の
スタッフがつき、
確実に相手の手に
カードを渡すよう
に練習

家庭での取り組み

- 見たいアニメを選ぶ



- 冷蔵庫にカードを貼り
食べ物や飲み物が、要求
できるようにする



コミュニケーションの成果

□動画



コミュニケーションの成果

□動画



コミュニケーションの練習（弟Bくん）



- 始めはスタッフが二人ついて、絵カードで要求の練習
- スタッフの手に渡す前に落としてしまい、“絵カードを渡すと要求が伝わる”といったことが、なかなか結びつかない

カードの変更

- 実際にお父さんと楽しむ“たかい たかい”の写真でカードをつくる
- 着目しやすいように、カードのサイズを大きくする



コミュニケーションの成果

□動画



コミュニケーションの成果

□動画



コミュニケーションの成果

□動画



スケジュール（兄Aくん）

- “今からする事” を 具体物で示す



実物での提示

スタッフがついて
方法を伝える



スケジュール

- 色や形で違いに気づいてもらう



スケジュール

□ 徐々にスキルアップ



一人で移動できるように
なりました！！



スケジュール

- 具体物での提示から写真での提示
(現在では、文字で予定を書くと理解できるまでに)



援助要求

- カードを手渡す事で・・・
→援助要求や「ごちそうさま」の意思表示が伝えられるようになる





課題

- 見て“何をするのか”が読み取りやすい課題を設定
 - 意欲を引き出す
 - 成功体験（褒められる経験）から自信につなげる

- 指先を使った課題を設定
 - 身辺動作につなげる
 - 集中する課題で一定時間椅子に座る練習

遊びの時間（余暇の開発）

□ 見る遊びが多かった

操作する遊び
も増える



遊びの時間（クールダウン）

- 入室時から、テンションが高くなっていた
- 落ち着いてもらう為に、リラックスの方法を考える
- 何かに集中してもらう事でクールダウン



目標の成果（兄Aくん）

領域	Aくんの目標	成果
行動管理	<ul style="list-style-type: none">• スケジュールの理解• 終わりの理解	<ul style="list-style-type: none">• スケジュールで予定を理解し、一人で移動できるようになった• 切り替えが出来るようになった
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">• 要求の伝え方を知る• 注意喚起の方法を知る	<ul style="list-style-type: none">• 伝え方を習得し、様々な場面で活用できるようになった• トントンとたたいて呼べるようになった
学習スキル	<ul style="list-style-type: none">• 一定時間椅子に座る• 微細運動の向上• 見分ける力をつける	<ul style="list-style-type: none">• 集中して一つの活動に取り組めるようになった• 指先の様々な動作を習得• コミュニケーションスキルや絵の読み取りにつなげられた
余暇スキル	<ul style="list-style-type: none">• いろいろな遊びを楽しむ• 余暇の開発	<ul style="list-style-type: none">• おもちゃを操作して、遊ぶようになった• 初めて見るものも、興味を示す

目標の成果（弟Bくん）

領域	Bくんの目標	成果
行動管理	<ul style="list-style-type: none">• “今する活動” の理解• 終わりの理解	<ul style="list-style-type: none">• 活動と関連するもので、読み取れるようになった• 課題場面では、少しずつお片付けする習慣が身に付く
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">• 要求の伝え方を知る• 適切に拒否を伝える	<ul style="list-style-type: none">• カードを見分けて、確実に手渡しして要求が伝えられるようになった
学習スキル	<ul style="list-style-type: none">• 一定時間椅子に座る• 微細運動の向上	<ul style="list-style-type: none">• 小さなものをつまんだり、的をねらって入れる事もできるようになった
余暇スキル	<ul style="list-style-type: none">• 身体を使った活動に参加• 余暇の開発	<ul style="list-style-type: none">• 見本を示すと注目するようになった• 遊び方をまねる事が増えた• サーキット遊びで、足や腕に力を入れて意欲的に参加

お母さんのコメント・・・

- 最初「こんなん、できるのかな？」と半信半疑。
→「カードで伝わる」こんな手段があるんだと驚いた。
- 個別の療育では、一人ひとり違った特性がある為、自分の子どもに合わせて課題を設定してもらえたり、相談にのってもらい的確なアドバイスがもらえて良かった。
- ふつうの子育てのように、常識的な対応ではダメだという事に気が付けた。叱ると余計に注目した事になり、逆効果なんだと知る事ができた。
- 褒める事の大切さを知った。褒める事で、伸びる事を知り凄いなと思った。
- 理解できない行動が多かったが、道筋をつくってもらえたのが良かった。
- どんな時にストレスを感じているのかなど、子どものストレスの原因を知る事ができた。
- スケジュールなどで、見通しを立ててあげると、今まで拒否していた事も安心につながり、応じてくれるようになった。改めてスケジュールの凄さを知った。
- 一人で子育てではできないと感じた。Sunみたいなのところが増えてほしい。



最後に・・・

- 個別プログラムの重要性
- スモールステップで、焦らない事が大切
- チームワークの大事さ
- 保護者との協同で、成し遂げられた事
- “これから”をつなぐ連携

ご清聴、ありがとうございました

